RISING GROUP

SDGs・CSRに関する活動

RisingGroup合同会社が行っているSDGsやCSRに関する活動や取り組みをご紹介します。

Contents

CLOSE

01 SDGsに関する取り組み

02 当社のSDGsへの取組・方針

- 1.貧困をなくそう
- 2.飢餓をゼロに
- 3.すべての人に健康と福祉を
- 4.質の高い教育をみんなに
- 5.ジェンダー平等を実現しよう
- 7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8.働きがいも、経済成長も
- 11.住み続けられるまちづくりを
- 12.つくる責任つかう責任
- 14.海の豊かさを守ろう
- 15.陸の豊かさも守ろう
- 17.パートナーシップで目標を達成しよう
- SDGsプラットフォームの参加
- SDGsパートナー

03 地方創生・働き方改革に関する取り組み

04 自然保護・環境保全・エコ活動に関する取り組み

05 児童福祉・障がい者・学生支援に関する取り組み

06 スポーツ・医療・健康に関する取り組み

07 食に関する取り組み

- 野菜を食べようプロジェクト
- 食べもののムダをなくそうプロジェクト

さかなを食べようプロジェクト

SDGsに関する取り組み

SDGsは、世界中の人々がこの地球上で安心して生活して暮らしていくために必要不可欠な目標であり、取り組むべき課題です。

RisingGroup合同会社では、国連が提唱する持続可能な開発目標SDGs（Sustainable Development Goals）の取り組みに賛同し、2030年までに持続可能なよりよい世界を目指す国際目標に貢献してまいります。

当社のSDGsへの取組・方針

SDGsに関することで、団体や個人で取り組んでいることや目標とする内容は以下の通りです。

1.貧困をなくそう

RisingGroup合同会社では「あらゆる形態の貧困をなくすこと」を目指し、「誰一人取り残さない社会」を実現するための取り組みをおこなっています。

全国各地のSDGsパートナー・子ども食堂・児童福祉団体等と連携し、食品・生活用品の寄付などを通じて支援させていただきます。

2.飢餓をゼロに

RisingGroup合同会社では「飢餓をゼロに」を目指し、すべての人が栄養のある食べ物を十分に得られる環境整備の支援をおこなっています。

全国各地のSDGsパートナー・子ども食堂・児童福祉団体等と連携し、食品・生活用品の寄付などを通じて支援させていただきます。

3.すべての人に健康と福祉を

RisingGroup合同会社では厚生労働省のがん対策推進企業アクションの推進パートナー企業として、生活習慣病やメンタルヘルスの早期発見・早期治療を目的としたがん検診の啓発や、健康診断後のフォローアップも充実させます。

だれもが平等に身体的・精神的健康を維持する機会を得られるように、児童福祉団体や盲導犬育成団体等への寄付・支援を通じて社会貢献させていただきます。

4.質の高い教育をみんなに

だれもが平等に質の高い教育を受けられる環境が大事だと考え、児童養護施設や子ども食堂等でのボランティアとして学習支援をおこなっています。

児童福祉団体や盲導犬育成団体への寄付を通じて、子供たちや盲導犬を必要とする方の支援をおこなっています。

5.ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等の実現のために、従業員の採用プロセス、性別、家庭環境による差別や偏見を排除すること、公平かつ透明性を持った評価や環境整備を整えます。

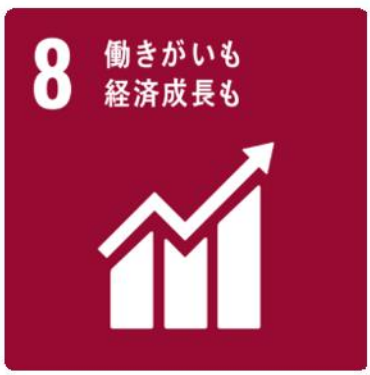
誰もが信頼しあえる働きやすい環境を整えます。

7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに

エアコン設定温度を定め、日中はできるだけ照明を消し、電気使用の削減に努めて省エネを意識し、エネルギー資源の節約を行います。

リモートワークで働ける職場環境の整備、二酸化炭素の排出量削減につながる徒歩や自転車利用、車利用の軽減に努めます。

8.働きがいも、経済成長も



地方在住者や子育て中の方でもリモートワークで働ける職場環境をつくり、住んでいる地域や年齢・性別に関係なく、働きがいのある社会づくりに貢献します。

国産野菜や地域の特産品を購入することで、地元の生産者や農家の経済的支援に貢献します。

11.住み続けられるまちづくりを

公園・街・駅周辺での清掃活動を通じて、誰もが安心して暮らせるきれいな地域環境を維持しています。

子ども食堂や福祉団体への支援を通じて、地域に根ざした居場所づくりとコミュニティの活性化に貢献しています。

地方自治体や地域団体と連携し、持続可能で住みやすいまちづくりを推進しています。

12.つくる責任つかう責任

規格外野菜や余剰食品を積極的に購入し、有効活用することで食品ロスを削減しています。

マイバック・マイボトルを利用したプラスチックごみの削減、リサイクル・リユース・資源ごみの分別回収に協力して無駄なごみを減らし、資源を生かす努力をしま

す。

14.海の豊かさを守ろう

未来の世代に豊かな海を残すため、海洋資源の持続可能な利用と生物多様性の保全に取り組んでいます。

ラムサール条約に登録された干潟の視察や清掃活動、イベントへの参加を通じて、自然と人との共生の大切さを学んでいきます。

三陸・常磐地域の被災地の水産業や地域経済の復興を支援し、水産品の消費や購入促進に取り組んでいます。

15.陸の豊かさも守ろう

公園・街・駅・河川敷周辺での地域清掃活動に参加し、自然環境を守る地域づくりに貢献しています。

ごみ拾いを通じて自然環境や生態系の保全に取り組んでいます。

地方自治体や地域住民と協力し、環境美化と意識啓発を推進しています。

17.パートナーシップで目標を達成しよう

SDGsパートナー制度に登録し、地方自治体と連携して持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

地域の社会福祉協議会や児童福祉団体との地域連携や交流を通じて支援活動をおこなっています。

SDGsプラットフォームの参加

2023年12月に、内閣府が進める「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の会員になりました。

さらに、会員となったプラットフォームは以下の通りです。

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム

さかいSDGs推進プラットフォーム

SDGsパートナー

地方自治体や全国のSDGs推進団体とパートナーシップを結び、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。

- あだち区SDGs（東京都足立区）
- いしのまきSDGs（宮城県石巻市）
- 宇部SDGs　（山口県宇部市）
- 豊橋市SDGs（愛知県豊橋市）

地方創生・働き方改革に関する取り組み

当社は「地域と人がともに活きる、持続可能な社会の実現」を目指し、地方創生および働き方改革の推進に取り組んでいます。

その一環として、以下の活動を通じて多様な働き方の実現と地域活性化を支援しています。

当社が行っていること

地方創生テレワーク推進のアクション宣言

時差Biz

自然保護・環境保全・エコ活動に関する取り組み

当社は、「地域とともに成長し、持続可能な社会を実現する」を目指し、自然保護・環境保全のの活動に取り組んでいます。

今後も、地域の皆さまとともに自然環境の保全活動に取り組み、次世代へ豊かな環境をつなげてまいります。

＜寄付先一覧＞

北海道環境財団

当社が行っていること

支援団体・保護団体への寄付を実施

干潟や海、サンゴの環境保全の推進

ぶちエコサポーター登録を通じて、環境意識の向上と地域活動への参加を推進

自転車や徒歩など環境にやさしい移動手段の選択による、CO_2排出の削減

コピー用紙の裏面活用、リサイクル用紙の使用による紙資源の再利用を促進

こまめな節水・節電の実践による省エネルギーの推進

休憩時や不在時における照明の適切な管理による電力消費の削減

廃棄物の分別を徹底しリサイクルを促進

デジタル化の推進による業務効率と環境負荷の軽減

ペーパーレス化による紙使用量の削減

地域の清掃活動への参加による、美化および環境保全の推進

マイバック・マイボトルを利用したプラスチックごみの削減

未来の子どもたちに豊かな海を残すため「未来とサンゴプロジェクト」に賛同しています。

児童福祉・障がい者・学生支援に関する取り組み

当社は「すべての人が安心して暮らせる社会の実現」を目指し、児童福祉・障がい者・学生支援への貢献に取り組んでいます。

その一環として、これまで以下の団体へ寄付を行い、子どもたち・学生・障がいを持つ方々の自立や夢の実現を支援してまいりました。

＜寄付先一覧＞

盲導犬育成団体への寄付を通じて、視覚障がい者の自立と社会参加を支援

あしなが育英会への寄付を通じて、遺児や経済的困難を抱える学生の進学を応援

信州大学「知の森基金」への寄付により、地域と連携した教育・研究活動を支援

「子ども輝く未来基金」への寄付を通じて、困難な状況にある子どもたちへの福祉・教育支援を実施

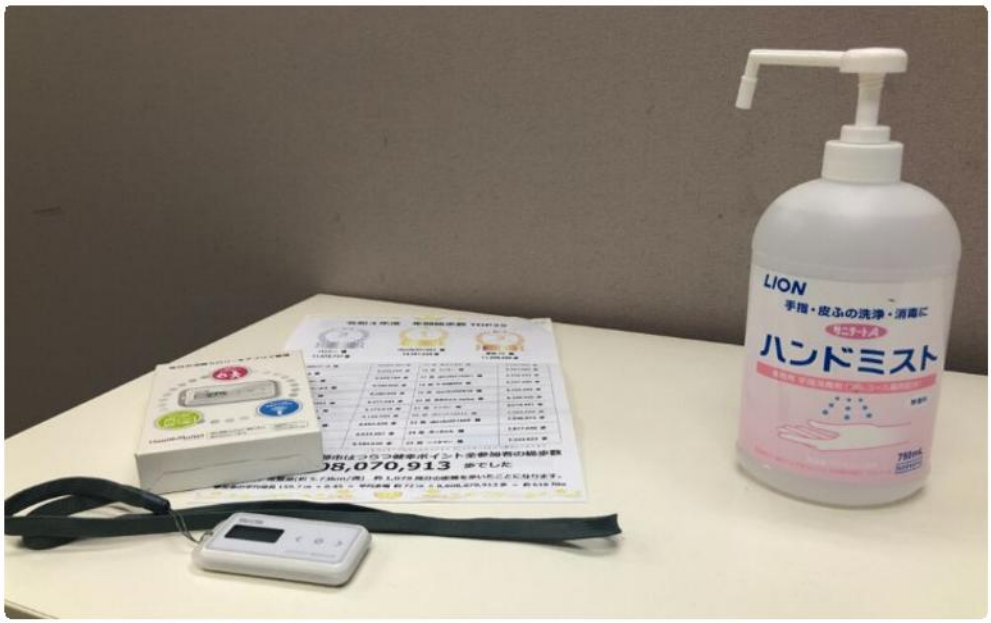
当社が行っていること

▼

児童福祉団体や児童養護施設への食品支援

児童養護施設への学習支援

スポーツ・医療・健康に関する取り組み



当社では、スポーツ・医療・健康の多角的な視点から、従業員一人ひとりが心身ともに健やかに、そして活き活きと働ける環境づくりを推進しています。

当社が行っていること

- 「がん対策推進企業アクション」パートナーとして、がん予防と検診啓発を実施
- 「Sport in Life」コンソーシアム登録を通じ、スポーツ習慣と健康づくりを推進
- 「がん撲滅応援団」パートナーとして、がん知識の普及と早期受診を促進
- 「サガハイマットサポーターズ」への登録を通じ、がん治療支援に貢献
- アルコール消毒液・体温計・常備薬を社内設置し、感染症対策を徹底
- 健康促進のため、万歩計を配布し運動習慣づくりを支援
- 健康診断後は保健師がフォローし、生活習慣改善をサポート

食に関する取り組み

国産野菜や山口県産の野菜

野菜を食べようプロジェクト

RisingGroup合同会社は、農林水産省が推進する「野菜を食べようプロジェクト」に賛同し、国産野菜の利用促進と消費拡大に取り組んでいます。

日本人の1日あたりの野菜摂取量は平均約256gといわれ、厚生労働省が目標とする350gには届いていません。

この現状を改善するため、当社では以下のような活動を行っています。

当社が行っていること

- 社内従業員や家族への野菜の無償提供、野菜料理の提供
- SDGsパートナーや地域農家からの野菜購入による地域経済支援
- 子ども食堂への食材支援と地産地消の推進
- 規格外の野菜購入によるフードロス削減

※当社の「野菜を食べようプロジェクト」の活動報告はこちら

食べもののムダをなくそうプロジェクト

RisingGroup合同会社は、持続可能な社会の実現を目指し、食品購入や飲食の場面において「使い切り・食べ切り」を徹底し、食品ロス削減に取り組んでいます。

その一環として、次のような活動を推進しています。

当社が行っていること

ニッポンフードシフト推進パートナーとしての活動
農林水産省が推進する「ニッポンフードシフト」に賛同し、パートナーとして食の大切さを広める活動に参加しています。

規格外野菜や食品購入による食品ロス削減
規格外品を積極的に購入し、有効活用することで食品ロス削減を推進しています。

子ども支援を目的とした食品の寄付
貧困に苦しむ地域の子どもたちを支援するため、食品の寄付を実施しています。

必要な分だけを購入し、食品を無駄なく使い切る工夫
社内外において必要な分だけを購入し、食品を無駄なく使い切る工夫を徹底しています。

食品ロス削減に取り組む飲食店や生産者の積極的な利用
会食や外食をする際には、食品ロス対策を行っている店舗や生産者を選ぶよう心がけています。

「てまえどり」の実践による期限切れ防止
買い物の際には、棚の手前にある商品を優先的に購入し、期限切れによる廃棄を防止しています。

外食時の適量注文と完食の推奨
食べきれる分だけを注文し、残さず食べることを推奨しています。

地産地消の推進（地域貢献）
地元で生産された農産物や食品を優先的に活用し、地域経済への貢献と輸送による環境負荷の軽減を推進しています。

※当社の「食品ロスの取り組み」の活動報告はこちらです。

さかなを食べようプロジェクト

山口県産の魚

RisingGroup合同会社は、水産庁が推進する「さかなの日」に賛同し、魚や水産物の消費拡大や利用促進に取り組んでいます。

日本人の魚介類消費量は年々減少していますが、魚は良質なたんぱく質やDHA・EPAなど健康に欠かせない栄養素を多く含んでいます。

この大切な食文化と水産業を守るために、当社では以下の取り組みを進めています。

当社が行っていること

- 社内従業員や家族に向けた魚料理の提供・普及活動
- SDGsパートナーや三陸・常磐地域の魚や水産品購入による地域経済支援
- 子ども食堂や地域団体への水産品や魚介類の寄付を通じた食支援

©2025 RisingGroup合同会社